９．主な出来事

年月日	名　　称	所在地	内　　容
通年	びわこキャンペーン	県内外	ＪＲ西日本、市町の観光協会や観光主管課と協力し、滋賀県観光情報誌「シガリズムトリップ」（2022年夏号より「滋賀たび」から名称変更）を作成するなど、滋賀の季節ごとの情報発信に努めた。
1月31日	石山寺の大河ドラマ館が終了	大津市	大河ドラマ「光る君へ」ドラマ館が終了。経済効果は大津市の試算で当初の予想を大きく上回る131億円であった。
3月24日	LAGO大津開業	大津市	LAGO大津は滋賀県の老舗和菓子店「たねや」が手がける、広大な自然体感型ショップ＆カフェ。2025年3月24日に大津市由美浜のなぎさ公園内にオープン。
4月13日	大阪・関西万博開幕	大阪府	大阪の人工島「夢洲」で開催された大阪・関西万博は、先端技術や世界各国の文化を集めた国家プロジェクト。184日間の会期で総来場者数約2,902万人（一般来場者数約2,558万人）を記録した。
5月15日	デスティネーションキャンペーン（DC）2027年開催決定	滋賀県	JRグループ6社と地方自治体・観光事業者が一体となり、特定の地域を対象に全国で展開する大型観光キャンペーンの滋賀県での開催が決定した。滋賀県での開催は27年ぶり。
5月16日	「琵琶湖疏水施設」国宝・重要文化財に決定	大津市	「琵琶湖疏水施設」の「南禅寺水路閣」や「第一隧道」など5か所が近代の土木構造物として初となる国宝に正式指定された。
6月6日（映画公開日）	びわ湖大津館、映画「国宝」のロケ地に	大津市	映画『国宝』で歌舞伎劇場「日乃本座」としてびわ湖大津館が登場。映画はその後、興行収入が実写邦画歴代1位となる208億円を突破、観客動員1400万人超の社会現象となった。
7月5日	大災害予言騒動	日本	漫画を起点に「2025年7月5日に大津波や災害が起きる」という噂がSNSで拡散した騒動。気象庁はデマを否定し当日は何も起きなかったが、香港からのインバウンドなどが大きく減少した。
8月26日	彦根城、今年度の世界遺産推薦見送り	日本	国の文化審議会は「彦根城」の2027年世界文化遺産登録に向けた国内推薦の見送りを決定。
9月28日 10月25日（開会式）	わたSHIGA輝く国スポ・障スポ開催	滋賀県	県内すべての市町で多彩な競技が実施され、滋賀県選手団は、天皇杯（男女総合成績）と皇后杯（女子総合成績）の双方で優勝するなど大活躍。
11月8日	滋賀県観光キャンペーン「戦国ディスカバリー滋賀・びわ湖」スタート	滋賀県	滋賀ふるさと観光大使・西川貴教さんが引き続きアンバサダーに。戦国の聖地・滋賀の魅力を全国へ発信。
11月14日	中国、日本への渡航自粛要請	日本	高市首相の台湾有事発言等に中国政府が反発し、自国民へ日本渡航の自粛を要請、インバウンドに影響。
12月11日	大津祭、無形文化遺産「山・鉾・屋台行事」に追加登録	大津市	「大津祭の曳山行事」がユネスコ無形文化遺産「山・鉾・屋台行事」に追加登録。江戸時代の粋を伝える13基の豪華な曳山巡行やからくり人形が世界の宝として認められた。